凡　事　徹　底

当たり前のことを当たり前に

蕨市立第二中学校
学校だより
令和２年度
第４号（７月号）

今こそ「凡事徹底」手洗い・うがい

校長　小山　晃弘

□学校再開からひと月がたちました

２年ぶりに、家の紫陽花が咲きました。小さな鉢植えのもので、紫色の一朶だけですが、毎朝目を楽しませてくれています。梅雨の時期は気持ちも湿りがちですが、小さなことでも楽しみがあると、心の持ちようも変わってくるものだとあらためて感じています

６月１日から始まった新学期。前半は分散登校のため、少し寂しい感じもしましたが、１５日からは一斉登校が始まり、子供たちの笑顔もたくさん見られるようになりました。昼休みはグラウンドを走ったり、ボールを蹴ったり、子供たち一人一人がそれぞれの時間を楽しんでいるようです。

授業に関しては、今年度は月曜日も６時間授業で週３０時間の学習となり、夏季休業と冬季休業が短縮されます。また、２学期は、月１回の土曜日授業（４時間授業）を４回行い（9月12日・10月31日・11月14日・12月19日）、授業時間を確保します。

部活動についても、当初は週に３回程度、主たる活動を６０分程度に抑えて行っていましたが、６月２７日以降は、部活動ガイドラインに則った活動に、市内３中学校とも移行していきます。部活動仮入部期間中は、様々な活動場所で、１年生に教えている２・３年生の先輩としての立派な姿が見られ、頼もしく思いました。

少しずつではありますが、段階を経て、日常生活に戻れるよう準備をしています。しかし、今はまだ「密閉・密集・密接」の三密を避け、学校生活を送っていかなければなりません。それでも、「新しい生活様式」を意識しながら、何でも駄目ではなく「２m距離を取りなさい」というよりは、「少しだけ距離をもとう」とか、「大きな声を出さない」を「会話は適度なボリュームで楽しもう」と発想することを常に意識し、「手洗い・うがい」については、その生活が当たり前になるようにしていかなければならないと感じています。

□本年度、蕨市教委委嘱研究発表があります

第二中学校では、平成３０年度より、蕨市教育委員会の委嘱を受け、「豊かな心で、主体的に生きようとする生徒の育成」という研究テーマで、「考え、議論する道徳」の研究を進めて参りました。本来であれば、できるだけ多くの時間、グループ活動や対話的な活動をさせたいところですが、現状ではまだ難しいので、しばらくは飛沫防止の机上ガードを使うか、一斉授業の形で進めていこうと考えています。生徒たちが道徳を学習する意義や、教材が取り上げている問題を自分事として考え、深められるような授業が行えるよう、研修を続けてきたいと思います。

□3学年修学旅行について

臨時休業に伴い、延期になっていた３学年の修学旅行ですが、宿泊先と交通機関が確認できましたのでお知らせします。

旅行日　11月8日（日）～10日（火）
行き先　京都・奈良

※6.15付け、「令和２年度　学校・学年行事の中止について」でもお知らせしたとおり、状況によっては、中止となる場合があります。

《学校教育目標》
自ら学び、深く考える生徒　（知）
心豊かで、思いやりのある生徒　（徳）
たくましく、健やかな生徒　（体）

蕨市立第二中学校
電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671
URL：http://www.warabi.ne.jp/~warabi-2/
e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp